

静私公たどより



認定こども園みのり

- 理事長抱負
- 定時総会
- 新執行体制／常置委員長の抱負
- 特集「絵本作家むらまつけーじのお絵描きのこと(その2)」
- 特集「幼稚園ICT化計画(その1)」井内 聖
- コミュニティ(保育の窓)
- もの想い(野間自由幼稚園、三和幼稚園)
- 健康随想／吉野友勝
- ナイスショット



NO.189
2020 **7**
Summer

令和二年

(社)静岡県私立幼稚園振興協会

理事長

千葉 一道

いちどう



平成から令和に移り、新時代が幕を開けました。令和二年度の始業と同時に、世界は「新型コロナウイルス感染」に冒され、人々は未曾有の状況に右往左往するだけで、目に見えない謎のウイルスに翻弄されています。感染で陽性になると重篤に陥り、死の恐怖を抱えることとなります。政府は、全国に「緊急事態宣言」を発出し、感染拡大防止を伝え、不要不急の外出は自粛するよう要請しました。新型コロナウイルスは、人から人に感染するため、同時に教育機関や保育施設の休校、休園が行政から要請され、一切の教育的活動が停止しました。政府は五月十四日、一部の都市を除いて緊急事態宣言を解除しました。新型コロナウイルスは大変危険なウイルスです。しばらくは園内においての感染に注意を

払ってください。当振興協会の各種事業も、苦渋の決断を強いられ中止することになり、関係の皆様には多大なるご迷惑をお掛けしました。此処にお詫び申し上げると共に、ご協力頂きましたことに感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの対応については、全日本私立幼稚園連合会や県私学振興課、あるいは各市町の担当課から詳細な通知がされてきました。当振興協会においても、協会独自の通知を試みましたが、県内全域で統一した通知をすることが困難であると判断し、全日本私立幼稚園連合会の通知を県私幼事務局経由で配信させていただきました。会員の皆様には、登園自粛中において、濃厚接触のご心配をされながら保育に従事された皆様に感謝と敬意を表します。新型コロナウイルスは

未だ収束していません。今年度の当振興協会事業は新型コロナウイルスの状況を踏まえて粛粛と進めていきたいと思います。

令和二年度は振興協会創立五十年の節目の年であります。昭和四十五年十一月、社団法人静岡県学校法人幼稚園教育振興会と静岡県私立幼稚園協会を一本化し、「社団法人静岡県私立幼稚園振興協会」を設立し、静岡県教育委員会の認可を得て研修委員会事業として新任教員研修を実施しました。この間協会では、毎年の定時総会をはじめ各事業を実施し、地区割りによる地区長配置により振興協会の事業が県内に浸透することができました。これも多くの先生方のご尽力により、振興協会の礎を築いていただきました経緯に感謝申し上げます。平成二十五年四月から法

人制度改革に伴い振興協会は非営利型の「一般社団法人」に移行しました。

昨年十月からは私立幼稚園の念願でありました幼児教育無償化が実施され、どの園も安定した保育と園運営ができるようになりました。五十年の歳月には多くの歴史が刻まれています。これも会員皆様が一丸となり活動にご理解いただいた賜と衷心より感謝申し上げます。会員皆様と振興協会創立五十周年をお祝いしたいところであります。新型コロナウイルスの状況を見極め、創立五十周年記念事業特別委員会での今後の検討をしていく予定であります。

また、常置委員会の事業につきましても、事業計画に沿って各委員会でも検討されていくこととなります。子どもたちの健やかな成長と協会発展のため、今こそ会員がひとつになり和をもって精進していきましょう。今後ともご理解並びにご協力を賜りますようお願いいたします。会員園にお勤めのすべての皆様のご健勝と会員園の更なるご発展をご祈念申し上げます。



一般社団法人静岡県私立幼稚園振興協会の第68回定時総会が、5月25日(月)静岡県私学会館5階大会議室において開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、参加者は理事、監事、各地区長のみとし、その他の社員(会員)は書面決議を行っていただきました。会場には、アルコール消毒液の設置、席を少なくすることによる十分な間隔の確保、窓の開放による換気など、感染症対策が講じられました。

総会は、千葉理事長の挨拶から始まりました。その後、千葉理事長が議長となり議事が進行され、第1号議案「令和元年度事業報告及び財務状況報告」及び第2号議案「役員を選任」が原案通り可決されました。



また、報告事項として2社員(会員)の退会と、社員である法人が設置する1園の新規加入と2園の退会が報告されました。

続いて、教育振興に多大な功績を残されている方々への表彰が行われました。千葉理事長から、私立学校教育振興功

労知事表彰及び理事長・設置者、園長永年勤続表彰が授与されました。受賞者の方々の功績に対して会場の皆様から盛大な拍手が送られました。



令和2年春の叙勲
瑞宝双光章

学校法人水元学園学园长
(元ひばり幼稚園園長) 水元正宏氏

令和2年度
私立学校教育振興功労知事表彰

学校法人静岡精華学園 幾田光男氏
静岡精華幼稚園園長
学校法人頌徳学園理事長 金原順一氏
三和幼稚園園長 大石和正氏
学校法人大石学園理事長
学校法人野秋学園理事長 野秋和弘氏
エンゼル幼稚園園長

令和2年度
永年勤続表彰(理事長・設置者、園長)

令和40年以上
学校法人静岡聖母学園 杉村悦子氏
岡部聖母幼稚園園長

令和30年以上

学校法人中村学園 杉山彰子氏
第一ひかり幼稚園園長
学校法人静岡聖母学園 鈴木あき子氏
八幡聖母幼稚園園長

令和20年以上

学校法人高根学園理事長 渡辺恭男氏
学校法人河合学園 河合辰哉氏
するが幼稚園園長

令和10年以上

学校法人栗田学園理事長 長谷川泰道氏
ふじみ幼稚園園長



令和2年度
三役・常置委員長・地区長の
ご紹介

●三役

理事長 千葉一道 八坂
副理事長 田中邦昌 みのる

〃 宮下友美恵 静岡豊田

〃 小林直樹 富士中央

〃 朝元 百 駅南

●常置委員長

企画委員長 吉田智昭 万野

研修委員長 相田早苗 焼津

広報委員長 足立武裕 リーチエル

経営委員長 武藤啓史 高洲

地域向上委員長 鈴木正篤 平島

●地区長

駿豆 野秋和弘 エンゼル

沼津 鶴谷主一 原町

富士 渡邊宏行 たかおか

富士宮 渡邊太郎 富士宮東

清水 高塚匡宏 清水白百合

静岡 宮下友美恵 静岡豊田

焼津 小関直司 みなと

藤枝 稲葉俊英 こぼと

島田・榛南 太田裕子 六合

遠州 中村千里 掛川こども園

浜松 荒巻太枝子 早出

委員長抱負を語る

企画委員会

委員長
吉田智昭



令和2年度の企画委員会が8名の委員で運営していくことになりました。委員会運営におきましては、理事長先生を初め、副理事長先生、委員の皆様のお力添えをいただきながら、皆様方のお役に立てるように努めてまいります。

本年度の企画委員会事業として計画されております研修会については以下の通りです。昨年10月から「幼児教育・保育の無償化」が実施され3歳から5歳までのすべての幼児の保育料が無償化されました。これまで保護者がそれぞれの園で既定の保育料を納付していた頃から比べると、保護者の負担が極端に減り、全ての子どもが教育や保育を安定して享受できる環境が整ったといえます。変化に伴い心配された事務手続きも市町により差がありますが、半年を過ぎる頃には、自園の感想として「だいぶ慣れたように思います。半面、預かり保育の無償化により、子どもを長時間預ける保護者が増えはじめ、私たち私立幼稚園が大切にしてきた親子が共に過ごす時間の担保等子どもたちへの影響が心配されます。今年度は「幼児教育・保育の無償化」による幼稚園

や家庭教育への影響について半年を過ぎた今、考えたい課題について問題提起できるようにしていきたいと考えています。

その他、年々加速化する少子化の中で将来を見据えた新しい視点から私立幼稚園の運営方法を探っていくことも喫緊の課題と考えます。様々な私立幼稚園の今日的課題について検討し、優先される課題について研修会を実施していきたいと思えます。

最後に、日進月歩変化していく幼児教育政策へ、先人が生み残した私立幼稚園の潜在価値を守りつつ、時代に合った私立幼稚園としての社会的役割について少しでもお示しできればと思えます。私自身委員長として2期目を迎えますが、委員会諸先生方のご指導をいただきながら精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

研修委員会

委員長
相田早苗



令和元年10月からスタートした幼児教育の無償化により、公的な教育として質の向上を保障していく責任を担うこととなり、地域から信頼される園としてもさらに質の向上に取り組みしていくことが求められています。幼児教育の内容の充実や質の評価の促進、家庭や地域における幼児教育の支援、推進のための体制の構築など、幼児教育の実践の質の向上が望まれています。令

和2・3年度の全日の教育研究課題においても、重点課題としていくつかの視点が示されています。研修委員会ではこれらの視点を基に幼児教育の充実に向けて、基本研修をはじめとする各研修会を企画・実施していきたいと思えます。マネジメント分野等キャリアアップに対応できる研修内容も考慮していく予定です。今年度はコロナ禍の影響を受け、真に残念ながら夏の基本研修や免許更新講習を中止せざるを得ない状況となつてしまいましたが、今後も状況に配慮しつつ可能な限り計画実施してまいります。

調査・研究事業においては、2年間のプロジェクトが2つ実施されます。園の安全、危機管理の在り方を探り、安全に関する指導と管理両面を効果的に実施するための工夫を考える『子ども安全、安心な園生活を考えるプロジェクト』と、保護者支援という観点から地域の幼児教育センター的役割を果たすための工夫について考える『地域と社会と園をつなぐ幼児教育の在り方を考えるプロジェクト』です。『保育の質の向上を目指した公開保育研修会』は、今期も継続して実施する予定です。各研修の際には、『幼稚園ナビ』を活用して実施してまいります。保育者としての質の向上に寄与できるよう、研修内容の精査、計画、実施を目指して取り組んでいきたいと思えます。

今期も、教員の皆様の学び、幼児教育の質の向上に繋がるよう委員一同で進めていきます。どうぞよろしくお願いたします。

広報委員会

委員長
足立武裕



今期、広報委員会、H P小委員会を担当させていただくこととなりました。初めての委員長ということで、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、千葉理事長をはじめ理事の皆様、委員会の委員の皆様のをいただきながら務めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な事業や行事に影響がでている現状ではありますが、私立幼稚園・認定こども園としての取組みや乳幼児教育の意義、協会の活動目的・存在意義など多くの方々にPRするとともに、保護者や子育て世帯の支援、地域の人々に子育てへの関心を高められるような広報活動を目指していきたいと考えます。

年に3回発行している『静私幼だより』について、総会や研修など協会の動向・教員や保護者の方の投稿・教育保育の参考となる特集記事など、多岐にわたる記事を掲載していきます。巻末のナイスショットでは子どもたちの笑顔あふれる写真を募集しています。各地区の広報委員に写真提供していただくか、協会事務局まで提供いただければ幸いです。その他、こんな記事を載せてほしい等ご要望があれば協会事務局までご連絡ください。皆様にとって有意義な広報誌になるよう努めてまいりますので、皆様ご協力よろしくお願いたします。

年々重要度が増してきた教職員の人材確保について、毎年行われている教

員養成校との情報交換の機会をより効果のあるものにすべく、またより質の高い教員を確保するため、新型コロナウイルス感染症の影響も懸念されますが、開催方法や内容について委員会で協議し、よりよいものを企画していきたいと思えます。

また協会事業の広報として、私立幼稚園・認定こども園についての関心が高まるようなパンフレットを作成し、県内外に広報していきたいと思えます。

広報委員会一同、皆様の期待に応えられるよう運営してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

経営委員会

委員長
武藤啓央



昨年施行された幼児教育無償化により、3才から5才まで全ての幼児について保育料が無償化され、幼児教育に関わるすべての施設が同じスタートラインに立つことになりました。これは幼児教育・保育関係各位の並々ならぬ努力の賜物であり、国、県、市町当局の格別の御高配によるものと感謝に尽きないわけですが、一方で預かり保育料について新2号認定が無償化の対象となり、今後早朝、放課後、長期休業中を問わず益々の利用者増加と保育の長時間化が見込まれます。私達経営者に欠かせない視点として、全ての子供達が安定した家庭生活を基盤として幼児教育を享受すること、そして健やかに成長、発達できることを第一に置きながら、市町当局との連携において、

保護者の子育てと仕事の両立を支援していくことが更に求められると思えます。

このことを踏まえ、幼稚園、こども園にとつての健全経営を維持していくために必要な施策を検討しつつ、事務局と連携し、経営分析情報、健全経営のための相談・行政関連情報の提供等を行いながら、トップマネジメント支援を目的とした理事長・設置者、園長等研修会を開催いたします。園の後継者育成を目的とする次世代リーダー養成研修会では、参加者相互のコミュニケーションと研鑽によるスキルアップを促したいと思えます。事務職員向けには会計、給与システムの運用を含めた事務処理の適正化・効率化を促進するための研修会を企画開催します。またITを園経営に有意義に活用することで、教職員がより子供や保護者向き合い生き生きと教育活動が展開できるようにIT小委員会を組織し、年3回を目途に園長向け、教職員向けの研修会を開催したいと思えます。経営委員会としてこの2年間会員園各位のお力になれるよう頑張りたいと思えますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いたします。

地域向上委員会

委員長
鈴木正篤



県内各地区において「子育て支援力ウンセラ」による子育て相談を実施しています。これは保護者の子育て相談や悩みの解消、また、子どもの問題

行動や発達相談、そして、教職員等のコンサルテーションや園の子育て支援カンファレンスを行い、子どもの健全な成長を支えるための事業です。県私幼としては長年に亘り実施していましたが、昨年度は約1,600件のコンサルテーションと約360件のカウンセリングがあり、とても多くの利用がありました。そのため、本年度は予算も増額し、より多くの要望に応えられるよう体制を整えています。

この事業に代表されるように、子育て家庭を支援するための場やシステムの企画と実施、また、人材確保に係る活動の企画の実施や研究の推進、園の安全管理に寄与する活動の企画と実施、県、市町への私立幼稚園支援に関わる活動の企画と実施、地区間の情報交換や事業推進に寄与する活動の展開などが地域向上委員会の所管となります(詳細は各園に配布されている事業計画書や県私幼のホームページをご確認ください)。

しかし、残念なことに、今年度はこのような社会状況で、スタート前から事業計画の変更や中止もせざるを得ない事態となっております。

幸いなことに、地域向上委員会は各地区のトップであられます地区長様が委員となられ構成される委員会です。委員会では、県私幼として、この困難ともいえる前代未聞の状況を乗り越え、明るい未来につながるための知恵や創意工夫がたくさん提案されることと思えます。子どもたちのためにも、私たちが自ら考え、行動し、お互いを支え合う姿を見ることが何よりも大切だと思います。委員の皆様のご活躍を大いに期待しております。どうぞよろしくお願いたします。

絵本作家むらまつけーじの お絵描きのこと その2



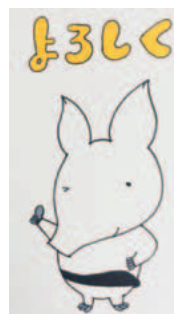
■プロフィール

むらまつけーじ（絵本作家）

1985年静岡県藤枝市生まれ。
常葉学園短期大学保育専攻科卒業。
幼稚園教諭として藤枝にある志太幼稚園、青島こども園で8年間勤務。
その後、東京にあるパレットクラブスクール絵本コース19期修了。
現在、地元静岡県で絵本作家として活動中。
イラストや絵本の仕事をしながら、
イベントではワークショップも行っている。

著書の絵本

- 『いっぱいいっぱいありがとう』（2018年出版）
- 『はなとりじぞう』（2020年出版）
- 『しょくじんきくようのとうだんご』（2020年出版）
- 【ホームページ】 <https://www.kg-baku.com>
- 【Facebook】 Keiji Muramatsu



前回は、楽しく絵を描くには「きつかけ」を与えてあげることが大事ということ、子どもが少し手を加えたら完成できる簡単な動物の描き方を紹介させて頂きました。いかがだったでしょうか？楽しんで活用してもらえたのなら幸いです。

さて、今回は「色鉛筆を使った楽しいぬりえ」について紹介していこうと思います。

☆色鉛筆の種類って？

まず、色鉛筆は大きく「油性色鉛筆」と「水彩色鉛筆」の2つに分けられます。簡単に説明させて頂くと、油性は、みなさんが子どもの頃によく使っていた一般的な物で、値段も手頃な色鉛筆になります。一方で水性は、水に溶け、水彩画のように使えるという特徴がある色鉛筆になります。

絵を仕事としているプロの方たちは、描くものによって使う道具を変えたり、自分のお気に入りのメーカーなどの道具を愛用していると思いますが、ここでは、文房具屋さんや100均などで購入できる色鉛筆を使って、楽しく絵を塗っていきましよう

今回、僕が使わせてもらう色鉛筆は有名なトンボの色鉛筆です。（図①）



＜図①＞

では、実際にどんな塗り方があるか、

前回の動物を塗って説明していこうと思います。（図②）まず、人によって塗り方もいろいろだと思えます。基本的に自由です。ただ、子どもに渡して、「さあ、塗ってみよう！」というのでは、実にもったいない！

たかがぬりえ、されどぬりえ！ぬりえも奥が深く、塗るときの強弱の違い、混色での色の出方などを少し教えてあげること、何倍にも楽しくなるのです☆一緒に楽しみながら、塗っていきましよう！



＜図④＞ つよくぬると...

＜図③＞ やさしくぬると...

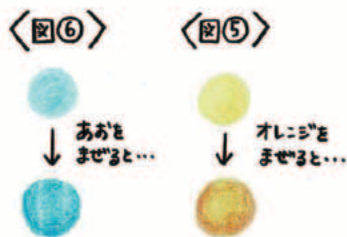
＜図②＞

☆ぬりえをもっと楽しむために♪
パート1

ぬりえをする時に、強弱をつけるだけでも完成したものは全く別ものになります。子どもとぬりえをする時に、弱く塗る時は、「優しくぬってね〜」と声をかけ、強く塗る時は、「思いきりぬってごらん〜」などと表現してあげると分かりやすいと思います。ただ、強弱の調整は難しい場合もあるので、無理は

せずに☆
 図③は優しく弱く塗った場合。図④は思い切り強く塗った場合。比べて頂くと、印象もかなり違うと思います。表現としても、図③は「優しくそうな猫だね〜」、図④は「とっても元気そうな猫だね〜」と言えそうです。

強弱を教えるだけで、少しぬりえの幅が広がると思います。
 次は色を混ぜてみましょう！



☆ぬりえをもつと楽しむために
 パート2

ぬりえは、単色だけでも綺麗ですが、同色系の色を混ぜることでグラデーシヨンのような綺麗な色を作ることができます。

例えば、黄色とオレンジ(図⑤)水色と青(図⑥)を混ぜてみるとこんな感じになります。

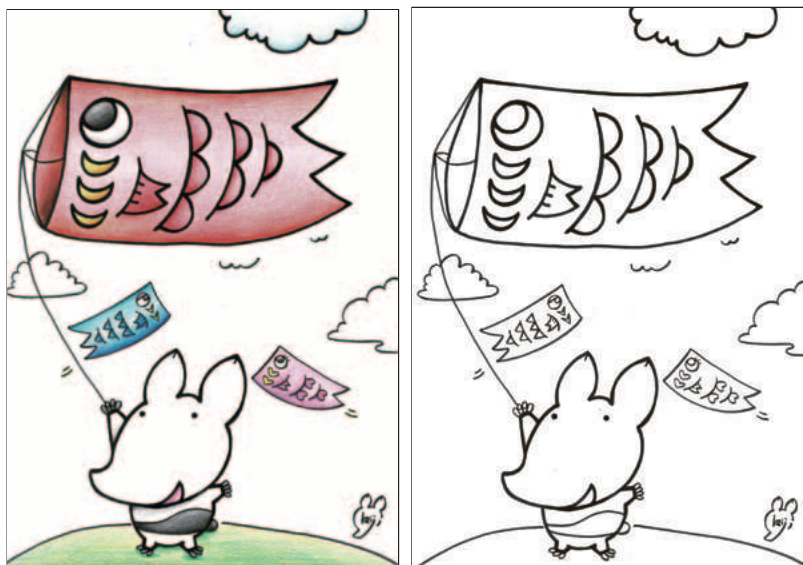
子どもと一緒にやる時は、「同じような色の仲間を見つけて〜」などと声をかけて同じ系統の色を使ってみて下さい。

ここで、ひとつ気をつけてもらいたいことは、塗る順番です。水色と青では、濃い青から塗ってしまうと水色が死んでしまうので、必ず薄い色から塗って

みて下さい。そうすると、綺麗な色が出てくると思います☆また、基本だけ教えてあげたら、子どもたちは色々な色を混ぜて試すので、そうしたら、たくさん褒めてあげて下さいね！
 褒められることで、もっと描くことが好きになりますから。

さて、今回は色鉛筆とぬりえのことについて紹介させて頂きました。僕も今年の4月から毎月、オリジナルのぬりえを作成し、自身のホームページから無料でダウンロードできるようにしています。ぜひ活用してみてください！

<図⑦>



<図⑧>



ちなみに図⑧は、僕が今回紹介した色鉛筆を使って、強弱や色を混ぜて塗ってみた作品です。

次回はさらに、お絵かきを楽しんでもらえる遊びを提供したいと思っておりますのでお楽しみに☆

幼稚園 ICT 化計画

新しい働き方を目指して

(その1)

井内 聖 (学)リズム学園学園長・恵庭幼稚園長

公立中学校教員を9年勤め、04年幼児教育へ転身。08年恵庭幼稚園長、14年学園長、学園内の保育園や子ども園の園長を歴任。北海道大学大学院教育学研究院乳幼児発達論研究室在籍。

▶平成30年北海道胆振東部地震では安平町はやくた子ども園長としてお泊まり会中に被災(震度6強)子どもの居場所として被災2日後から園を地域に開放し、応急保育を行う

▶ICT活用の先進的な取り組みは全国から注目され、毎年150人を超える視察者が訪れる



今回から特集を担当させていただくことになりました北海道にある恵庭幼稚園長の井内と申します。自己紹介はプロフィール欄を見てもらうことにして、まず自園がどんなICT環境なのかを簡単に紹介します。

- 先生は一人一台アイフォン
- アイフォンで業務の8割が終わる(保育を除く)
- データはすべてクラウド管理(園内にサーバーなし)
- 紙書類は基本なし、完全ペーパーレス
- 職員室にホワイトボードや掲示板なし
- 保護者連絡も基本デジタル(毎月園だよりのみ冊子)

こう書くと保育でもデジタルを使っているように思われるのですが、保育はアナログです。園庭に田んぼがあったり、森に遊びに行ったり、夏は泥だらけ、冬はマイナス20℃まで毎日外で遊ぶ「生活と遊びを中心にした保育」の園です。

では、なぜそのような園が働き方をデジタルに変えていったのか。どのよう変えていったのか。ICT化のメリットは何か。そのようなことを4回に渡ってお伝えできればと思います。

★口承文化の幼稚園★

自分が幼児教育の世界に入ったのは今から15年前。公立中学校の社会科教師から教頭として入りました。二代目や跡継ぎではないので幼児教育も保育もまったくわから



ず。その中でも一番驚いたのが先生達の働き方でした。うちが特殊だったのかもかもしれませんが、すべてが手書き。おたより、行事の計画、日誌、要録、出席簿。これらを先生達が毎日、手で書いていました。業務に関するマニュアルもなく、書類の作り方、行事の進め方、教材の購入方法、バスの運行などあらゆるものが口頭。たまにマニュアル的なものがあったとしてもそれだけ見ても理解不能。長年いる先生はわかるのでしようが、新卒や中途で入った先生は結局聞かないとわかりません。「文字を持たない口承文化」それが幼稚園の第一印象でした。なので仕事が終わらない。理由は簡単です。

●手書きの修正は手間がかかる(デジタルの修正は一瞬)

●手書きはすべて一からつくらなければい

けない（デジタルはコピーが可能）

●口承は聞く時間が取られ。タイムイン
グもいる（デジタルはいつでも誰でも）
●手書きは紙の保存管理がいる（デジ
タルは保存管理が一瞬）

当時はICT化を進めようと思つて
取り組んではいません。働き方の効率
を上げ、残業や持ち帰り仕事を減らす
こと。事務よりも保育に向き合う時間
をつくること。そのためにPCを使い
ました。また「ICT」という言葉も
なかった時代です。

★30年後の未来を見据える★

今でこそPCでつくったおたよりが
一般的になりましたが、当時は「手書
きじゃないと愛情が伝わらない」そ
う言われました。メール連絡網を導入し
たときは「本当に伝わったか確認でき
ない（電話はその場で確認できる）」
とも言われました。私達は幼児教育を
考える時、子ども達の30年後を考えま
す。変化の速い時代、30年先などわか
らないかもしれないが、少なくとも
今の時代にあわせるのではなく、社会
が変化しても変わらない大切なもの、
変化した時代に必要なものになってくる力、
そういうことを考えて教育をしてい
ます。

では、働き方や保護者との関わり方
はどうでしょう？学校は元々、一般社
会よりも知を先取りして地域社会や保
護者に提供・啓蒙する場所でした。今
となつては学校や保育現場が一番、世
の中から遅れている業種の一つになつ
ています。「未来をつくる子ども達が

育つ場は一番未来の社会に近い」環境
問題、持続可能性、多文化社会、これ
らと同じようにICTの活用もあるの
ではないかと思ひます。

★ICT化へ向けて何から始めたらいいの？★

では具体的に何から始めたら良いの
か？二つあると思ひています。一つ目
は「目的を教職員に明示する」これは
何のためにICT化を進めるのかとい
うことです。業務の効率化を図り保育
に向き合う時間を増やす。これは先生
達にとつて理解してもらえらるでしょ
う。ただ保護者にとつては直接関係な
いことかもしれない。当園では、そ
れらに加え、さっきの言葉を使つてい
ます。「未来をつくる子ども達が育つ
場は一番未来の社会に近い」です。「そ
のためにはお母さん達もこれからの社
会を見据えてICTを活用していつて
ください」そう



伝えていきます。
実はそのことが
今回の新型コロナ
ナ対応でもても
活きました。保
護者のインター
ネットアクセス
率100%、完全
ペーパーレスが
直接接触を避け
た家庭との連
絡、連携で強い
力を発揮したか
らです。（詳細

は次号以降）

目的を伝えることはI
CT化への理解を得るこ
とに繋がるのですが、そ
れと実践できることは別
です。実践活用の最短距
離は端末の大量投入です。
これは職員室にPCやア
イパッドが1台しかな
かった時代の経験を通し
てわかったことです。PC
やモバイル端末が数台
あつても何も変わりませ
ん。ICT化でのPCや端
末は旧時代のノートとペ
ンと同じ、共有ではなく
自分が自由に使える道具
がないと使われません。と
なると予算が問題になりま
す。しかし、良い時代になりました。



文科省が生徒一人一台PCを支給する
方向を決め、今、PC導入コストがか
なり抑えられます。保育現場で使うP
Cに高い性能は不要です。またワード
やエクセルといったソフトもほぼ不要
です。（リズム学園はワード、エクセ
ルを使つていません）無料のオフィス
系ソフトやアプリがあれば十分です。
信じられないかもしれませんがICT
化は手書き紙文化よりも圧倒的にコス
トが抑えられるのです。
ICT化へ向けて何をすればいいの
か？

●目的の明示、ICT化導入への理解
（園長の覚悟とビジョン）
●現場への端末大量投入（担任一人一

台は必須）

●モバイル端末の
購入（バッテリー
駆動が基本、コン
セントを使わな
い）
●アイパッドより
アイフォン（メモ
とペンは持ち運べ
る、アイパッドは
ポケットに入らな
い）

最後に一番は園
長の意識改革です。
一つ目はコスト意
識。先生一人あた
りの年間持ち帰り
や残業代とPC一
台ではどちらが高いでしょうか？PC
は一度買えば数年持ちます。働き方
を変えなければ持ち帰りや残業は毎年か
かってくるコストです。二つ目はIT
への信用度です。今の50代はプロッ
ピー世代です。データが一瞬で消える
と思ひています。40代は個人情報保護
世代です。ネットの情報は漏れると
思ひています。今のITは消えませんが
漏れません。PCも壊れません。時代
は変わつていくのです。ICT化へ向
けて意識を変えること。これが最初
にやることもありません。

今回はICT化は危機管理になるこ
とを紹介したいと思ひます。平成30年
度北海道胆振東部地震（最大震度7）、
その日、うちはお泊まり会でした。



夢が叶って

光長寺幼稚園

関根 成

園の先生に憧れを抱いたのは自分
が通っていた園に男性の先生がいた
からです。その先生は優しく頼りに
なり子どもだけでなく、保護者の方
からもとても信頼されていました。
そして、実際に先生になりたいと
思ったのは中学生のときです。中学
校では職場体験という行事があり、
それぞれ気になる職場に行き、仕事
を体験させてもらっ

た。候補の中に自分
の母園があり、その
園を職場体験先に決
めました。職場体験
では、子どもと一緒に
遊ぶことが主にな
っていました。そ
の中で子どもと関わ
る仕事は楽しい、
やってみたいと思
い、高校卒業後の進路で
保育の専門学校を志
望しました。今、働
いている幼稚園との

出会いは専門学校の授業の一つであ
る園見学でした。午前中の活動に参
加し、子どもや園の様子を見学する
もので今の園には4回くらい見学を
させていただきました。最初は授業
の一環だと思いついていたのです
が、回数を重ねるうちに園の雰囲気
や子どもの様子を見て自分もこの園
で働きたいと思い、幼稚園の教師を



目指しました。

幼稚園の教師になってまだ一か月
ですが預かり保育の子と一緒に活動
をする機会があり、実際に集団遊び
や制作を考え実践する機会をいただ
きました。その中でまずは活動に入
る前にその活動に興味を持ってもら
えるように話をしたり体験したりす
ることが大切だということを改めて

教えていただき
ました。それを
踏まえ、びゅん
びゅんゴマでは
制作を始める前
に実際にコマを
回すことで子ど
もの興味を引き
出すことができ
ました。制作の
活動の時間が終
わっても「まだ
やりたい」や「回
し方を教えて」
という子が多
く、子どもの興

味を引き出すことで主体的に活動に
取り組む気持ちを持たせることがで
きるということを再認識しました。
自分は今年5歳児クラスの担任に
なったので、より子どもが主体的に
活動へ取り組もうと思えるように考
え、少しでも子どもや保護者の方に
信頼される先生になりたいと思いま
す。

夢を貰う側から与える側に

志都呂幼稚園

川田 楓

私は、小学生の頃から将来の夢は
「幼稚園の先生になること」でした。
きっかけは、私が年長児だったとき
の担任の先生がいつも笑顔で優しく
て大好きで、私もそんな先生になり
たいと思ったからです。

念願だった幼稚園の先生になるこ
とができ、「さあこれから頑張る
ぞ!」と意気込み臨
んだ一年目。最初は、
一日一日を終わらせ
ることに手一杯で、
毎日が嵐のように
去っていききました。
心にゆとりが持て
ず、どうしたらよい
かたくさん悩みまし
た。そんなときでも
頑張ろうと思えたの
は、先輩の先生方か
らの言葉と子ども達
の笑顔です。先生方
からアドバイスを頂
くことで新たな発見
や学びがありました
。時には「先生は
十分頑張っているから大丈夫だよ
と励ましていただき心の支えになり
ました。また、子ども達の可愛い笑
顔を見るたび癒されながらも「この
子達の笑顔をもっと増やしたい」「そ
のために今度はこうしてみよう」と
前向きに考えることができました。
悩みながらも試行錯誤を繰り返して
いくことで、見通しを持って保育が



できるようになったり、行事を通し
て子ども達の成長に喜びを感じたり
と気づけば保育を楽しめるようにな
っていました。

そんな一年目から三年が経ち気づ
けばもう四年目。新しいクラスの子
ども達と対面し、一年目の記憶が蘇
り新たな気合が入りました。私の今
年の目標は、「周り
を見ながら保育を
進めていくこと」
です。この三年間
で学んだことを生
かしながら、私が
一年目のときに支
えていただいたよ
うに、今度は私が
新人の先生の心の
支えに少しでもな
れるように行動し
ていきたいです。

幼稚園の先生と
いう職業は、子ど
も達・保護者の皆
様・先生方など、
たくさんの方々
によって成長させてもらえる素晴らし
い職業だと思えます。優しく頼もし
い先生方と可愛い子ども達と一緒に
過ごせる日々感謝の気持ちを持ち
ながら、私が担任の先生から夢を
貰ったように、いつか誰かに夢を
与えられるような魅力的な先生にな
れるよう、初心を忘れずこれからも努
力していきたいと思えます。



R君との出会い。4年目、ただいま修行中!

藤枝順心高等学校附属幼稚園

遠藤 紗穂

ある朝、R君が「うんち出そう!」と走ってきた。しかし、残念ながら失敗してしまった。少したつて、再びR君が走ってきて「さほ先生、うんち出そう!」と伝えてくれた。諦めず2回目に教えてくれたとき、見事に間に合った。大成功だ! R君は嬉しそうに目をキラキラと輝かせて「先生!みてみて!」と教えてくれた。2人で便器の中

のうんちを見ながら大喜び!その日は周りの先生にも、保護者にも褒めちぎって終えた。子ども達みんな、個々に課題を抱えているが、R君にとつての課題の中の1つは便器の中で排便をすることだった。便器で排泄すること自体が嫌だというR君に、毎日声をかけながら様々なタイムミン



グでトイレに誘った。4月から少しずつ共に時間を過ごし、信頼してくれるような様子が見られた日に、何気なく「今日、うんち出そうとき教えてね」と伝えていたその日の出来事であった。満3歳児クラスから年少に進級したR君。満3歳児の時は、集団にすることが難しく、担任の先生を悩ませていた。私は、この1年で彼に何を

してあげられるかな?と不安な気持ちでいっぱいだった。進級当初

信頼関係が構築できていない中で保育は難しく、振り回されること一度々あった。しかし、関係を築こうとしていた矢先に新型コロナウイルスの関係で園が休園になってしまった。5月初旬、園の再開後に再びR君との格闘の日が始まった。R君にとつて居心地がよく、楽しいと思われる言葉や行動を考え、懸命に関わっていった。

6月になった今でも、まだまだうんちが成功する日は少ないが、それでも本人は前向きにどんな活動にも取り組み、友達とも楽しく関わる姿がたくさん見られるようになってきた。時には思い通りにいかずR君も思い悩んでいる姿が見られるが、一対一で話した後の頑張ろうとする姿勢はとも頼もしく感じ、尊敬の思いも感じることもある。

保育者となつて4年目を迎えた自分もまだまだ未熟者。保育の楽しさを感じることも年々増えてきているが、同時に悩むこともいっぱいの日である。R君をはじめ24名の子ども達も、私に足りなかったことを気づかせてくれる。保育者として教えることも大切だが、一人の人として子ども達と共に学び合つて成長できるように頑張りたいと思う。日々勉強。遠藤、ただいま修行中!

子どもたちとともに

六合幼稚園

工藤麻由美

「私、幼稚園の先生になるんだ」と自分の卒園式の日を決めました。担任の先生が大好きで先生と別れる事が悲しくてしかたがなかったのをよく覚えています。担任の先生は、優しくて絵が上手な方でした。もちろん、叱られた事もありました。楽しみにしていたお泊り保育の時には、怪我をしていたため、参加が危ぶまれましたが、その先生のおかげで、無事に参加し、思い出に残る時間を過ごす事もできました。それを数年たった今でも覚えています。



憧れだった幼稚園教諭になり、毎日無我夢中で過ごしています。私はいつも子どもたちが「幼稚園つて楽しい。明日も行こう」と思える毎日にしようと心がけています。今年度は、満三歳児のクラスの担任をしています。「初めてお母さんやお家の人と離れて幼稚園で過ごす」小さい子どもたちが入園してきます。子どもたちにとつてこんな不安な事は生まれて初めての経験のほずです。だからこそ、どんな姿も丸ごと受け止めて、安心できる場になれるように努力をしています。

子ども一人ひとりに向き合い、手をにぎったり抱きしめたりしています。そうする事で入園当初は、泣いていたり強がっていた子も笑顔を見せてくれたり、話しかけてくれるようになります。先日クラスのみんなが集まっていた。そばに行き見ていると「パーティーごっこ」が始まっていたように。テーブルいっぱいにはまごのご飯を広げてみんながハッピーダンスを歌いだしました。その姿はとても可愛らしく思わず、一人ずつ頭を撫でてしまいました。私は憧れだった幼稚園教諭になれたことに、満三歳の可愛い十五名の子どもたちに囲まれて今、とても幸せだなと感じている毎日です。

娘たちと幼稚園への想い

野間自由幼稚園PTA会長

安東 忍

幼稚園には長女が年長、次女が年少でお世話になっています。次女は入園して間もないので、長女と幼稚園への想いについて考えてみます。長女は明るく元気ですし、泣くことはあまりないのですが、

年中の終わり頃変化がありました。五歳ともなりますと運動や工作でできると、できないことに差が始め、それを感じするようになる年頃なのでしょうか。長女は体を動かすのは好きですが、上手ではありません。先日は縄跳びが

できないことが悔しいのか情けないのか大泣きしていました。そんな感情で泣くということはその分成長したのですね。今回は特訓してなんとかできるようになり、まずはひと安心ですが、この先、親が手助けしてあげられることは少なくなり、いずれは親に言わずに自分で努力して克服していくようになるのかとさびしく感じました。どうか、もし苦手なことができなくても落ち込まず、持ち前の明るさ



と積極性を失わずに得意なこと、好きなことに夢中になれるように成長してくれればと願っています。でも不安はありません。それは幼稚園行事のお手伝いを通して、先生方の準備と教えの一端にふれてみて、各先生が100名を超える園児ひとりひとりを愛情深く見守ってくださっているのが実感できたからです。本当にいつもありがとうございます。

次女はのんびりマイペースな子なので、しばらくは先生方にこ面倒をかけてしまいかもしれませんが、ゆつくり成長してくれればと思っています。

「野間自由幼稚園」風格のある園舎、広い芝生の園庭、定期的な研修と日々の努力を積み重ねられている先生方がいる、そんな幼稚園に通っている娘たちは幸せだと思います。

PTAの役員は大変ではありませんが、その分、子どもの成長と喜びの瞬間に立ち会えますし、私にとっても新たな発見がある貴重な機会です。年間楽しみながら精一杯努めてまいります。

新型コロナウイルスの蔓延が終息し、平穏な日常が戻ることを願っています。

PTA活動と子供の成長

三和幼稚園 PTA会長

望月 隆行

我が家には、今年度幼稚園を卒園した娘と年中になる娘がいます。ちょうど二年前、先生よりPTA会長を頼めないかとお願いがありました。幼稚園の行事には楽しく参加していたものの、PTA活動の運営をお手伝いできていなかったもので、いきなり会長という大役の依頼で正直戸惑いもありましたが、恥ずかしがり屋で、引

込み思案の長女に自信を持ってもらうためと次女も楽しみにしていた幼稚園に入園することもあり、思い切って引き受けることにしました。私たちのPTA活動は主に、運動会のお手伝い、夏祭りの模擬店、秋

に開催するバザーとマルシェ、発表会の会場整理等です。今年度は、気温が高い時期に開催する夏祭りの模擬店を衛生面を考慮し縮小して気候の良い秋口に行うバザーを名前を変えて『ふれあいマルシェ』と題し行うことにしました。PTAの模擬店だけでなく、園庭に外部出店を募り、地域の方、園児たち、保護者、先生方が青空の下でみんなで楽しめる大きなイベントに



する計画を立てていました。ですが、気候が良くなると思っていたのにまさかの台風19号が重なり中止となりました。焼津にも甚大な被害をもたらした災害だったのでしようがないと思いつつ、一生懸命準備してきた役員や楽しみにしていた子供たちのことを思うと申し訳ない気持ちと悔しさが残っています。

今年度の引継ぎで次期会長並びに役員の方がこの計画を引き継ぎ成功させてくれると言ってくれたことに感謝でしかありません。下の娘がまだ年中なのであと2年幼稚園行事をバックアップできたらと思います。そして、冒頭でお話した会長を引き受けた理由の結果ですが恥ずかしがり屋の長女が、発表会で大きな声で歌って踊っていたり、運動会でも二言スピーチも大きな声で言えたり、友達と仲良く遊んでいたりと自分のおかげではないと思えますが、笑い成長した娘を身近で見ることができ本当に良かったと思います。

最後になりますがPTA活動に携わることで、幼稚園行事を通し子供たちと一緒に楽しむことができ、楽しい1年を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

最後になりますがPTA活動に携わることで、幼稚園行事を通し子供たちと一緒に楽しむことができ、楽しい1年を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

食物こぼれ話 (その6)

上野幼稚園 吉野友勝



お米を作っています

私は昭和33年まで富士郡上野村と呼ばれた富士宮市北部に生まれ育ちました。周囲は水田の農業地域です。小学生のときには農繁休暇というものがあがり、田植え・稲刈りの頃は学校が休みになり家の手伝いをします。我が家は理髪店だったので手伝う田んぼもなく、何となく肩身の狭い思いで過ごした記憶があります。20年程前に同級生の家の休耕田で、趣味と道楽感覚で米作りを始めました。農器具も機械類もなく、全て手作業で大変でした。周囲の農家に手伝ってもらったり、教えてもらいながら何とか自力でできるまで数年かかりました。今は田植機・稲刈機・脱穀機・トラクターを利用しています。中古で買ったトラクター以外はいただき物です。農家は乗用の大型機を使うようになり、人間が歩きながら操作する旧式の機械は不用なものでタダです。燃料は少し、丈夫で長持ちします。年に1回使うだけです。20年やつても20回しか経験できません。自然は毎年同じではないので貴重な1年です。農業は多くの事を知る必要があります。天候・気温と成育・肥料・土地・昆虫・鳥・動物・水・水利等々、百の事を経験で知っているから百姓と呼んだそうです。本来は差別語でなく敬意を

持った言葉だったそうです。

籾(種)まき

種は発芽抑制物質におおわれているので2日程水につけて抑制物質を溶かし芽が出やすくします。田植機の苗台と同じ大きさの専用の箱に水はけの良い専用の土を入れて籾をまき、朝晩水をやりまします。1週間程で青々と芽が出てきます。平均気温15℃以上で発芽します。5月の連休頃が最適です。約1か月で大きく成長するので田に植えてやりまします。近年は5月の連休に田植えを終わらせる傾向にあり、そのためにはまだ寒い3月末に籾まきの必要があり、ビニールハウスに暖房を入れたり、温度調節ができる暖房機付の育苗機を利用してまします。私は自然が教えるままなのでお金も人工のエネルギーも使いましません。

曆の教え

日本は明治になるまで千年以上わたって月の運行を基準にした農事曆とも言ふ旧曆で生活してきました。新月から3日目の月(三日月)を経て約7日(右半分だけの上弦の月、更に約7日(満月)、次の7日(少)ずつ欠け左半分だけの下弦の月、そして最後の7日(見えなくな)り、計約28日です。産婦人科はこれを妊娠の1ヶ月とし、10月10日(とつきとうか)の290日(赤

ちゃん誕生です。地球に一番近い月の運行は地球上の生命に密接な関係があり、古代から植物の成長とともに観察され農事曆ができたと考えられます。現在の西洋科学の太陽暦とは約1ヶ月ずれますが、植物の成長は旧曆が示す季節に合っています。だから昔ながらに田植えが6月だと、籾まきから無理なく自然の気温で苗は育ちまします。機械化が進み効率よく仕事もでき、人間の都合にも合わせやすくなったが、気がつけば大量のエネルギーを使い植物に無理をさせている時代になっています。

田植え後のこと

水の管理と田草取りが主な仕事です。取水口に草や枝がつかえて止めてしまうのは自然ですが、人間が捨てるごみに腹が立ちまします。川のゴミ拾いも仕事です。水はその循環を考えれば全ての生命の源です。無農薬なので田には様々な生物がいます。モグラは好物のミミズを求めて動き、穴をあけて歩くので水がもれることもたびたびです。ミミズは土を食べ、その糞(ふん)は植物の3大栄養素の窒素・リン酸・カリを5〜6倍含むそうです。蛙・おけら。清流なので沢ガニが紛れ込むことも。ホタルも舞い、蚊もブヨもヘビもツバメもカモも、共生を肌で感じまします。一番大変なのが草取りです。照りつける太

陽の下で柔らかい泥に足をとられながら歩くので足腰は鍛えられます。様々な天気予報で熱中症を心配してくれてありがたいです。遊び心も大事です。稗(ひえ)はイネ科なので苗に似ています。またちやつかり苗に紛れ込むので、「忍者稗蔵」と呼んでいます。みるみる君」と名付けたすぐ伸びる草もあります。9月頃には水も不用になり穂が出てきて10月頃には黄金色となり稲刈りです。旧式機械でも刈った稲を適量に紐で縛ってくれるので、脚(あし)と竿(さお)を組み立て、そこに縛った稲束をかけて約2週間天日に干すと、理想の湿度14%台になるので、脱穀して籾(もみ)摺(すり)り機で籾を除き玄米にして保存まします。コンバインという機械は、稲刈りと脱穀を同時にまします。乾燥してないので乾燥機で湿度14%台にして籾摺りまします。電気と灯油を使いまします。私は人手と時間を使いまします。自分や子どもや孫が1年間食べられます。

完成品に囲まれた快適な生活は、大切なことを見落し、わずかな不都合が大きくな不便に感じられるかもしれません。イタリヤのある作家の言葉に「コロナは今、僕らの文明をレントゲンにかけているのだから」とありました。

ナイスショット特集



組み木でおうちを作る大工さん



何が見えるかな？



分散の登園



しゃぼん玉がきれいでしょ！



いちご狩り



みんなマスクしてえらいね



たんぽぽ ぞーぞー！！



ジャガイモ豊作！



桜の花の下で入園式

おいしい顔ってどんな顔!?



ちょうちよになりました



パパの真似~



砂遊び



おおきくな~れ! 秋になったら焼き芋パーティー♪



花まつり



バケツでおもちやすくい!



仲よし3人トリオ☆



センセイ、水ちょうだい!

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、4月に予定していた大井川近辺の街ぶらりの取材が中止となり、なかなか委員会も開催できずにいました。やっと6月11日に第一回広報委員会を開催し、この「静私幼だより7月号」の校正を一気に進めることができました。

プールや納涼祭、お泊まり保育など夏ならではの思い出を子どもたちに残せるといいと思います。秋頃に予想されているコロナ第二波の影響が少ないことを祈っています。

広報委員/認定こども園さくら幼稚園 大嶽素宏



年少さん、よーいドン!



園庭の吊り橋から、ヤッホー!

NO.189

静私幼だより

2020.07.15

発行人／千葉 一道
編集人／足立 武裕
広報委員会

発行所／(一社)静岡県私立幼稚園振興協会
〒420-0853
静岡市葵区追手町9番26号
静岡県私学会館内
TEL.054(254)6820・FAX.(255)3694

<http://www.shizushiyou.or.jp/>
E mail: office@shizushiyou.or.jp

印刷／(株)三創 レイアウト・イラスト／村松麗子



このQRコードを携帯電話の「QRコードリーダー」で読み込めば、協会HPの携帯サイトにもそのままアクセスできます。